

秘

農林水産省

統計法に基づく基幹統計

農業経営統計



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護を万全を期します。

農業経営統計調査

〇年 子牛生産費統計調査票

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 〇年1月1日～〇年12月31日までの1年間について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★〇印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「子牛の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年1月1日～○年12月31日の間に、次の牛の飼育に
要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ① 繁殖雌牛・・・初回種付け以降の肉専用種の雌
② 子牛・・・自家で飼育している繁殖雌牛から生まれた、地域
で一般的に取引される月齢に達するまでの子牛
- 調査では、これらの牛を「調査対象畜」といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入して
ください。

例えば、調査対象畜以外の牛も飼育している場合には、調査対象畜分の経費
等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の
記入例1を、わからない場合には下の記入例2を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例1 調査対象畜分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140 t、7百万円の配合飼料を給与した場合、数量に140 t、金額に
7百万円を記入し、調査対象畜負担割合を100%と記入してください。

区 分	数 量	単位	金 額（円）	調査対象畜 負担割合
配 合 飼 料	140	t	7000000	100

●記入例2 調査対象畜分の給与量・金額を記入できない場合 （調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合）

経営全体で200 t、1千万円の配合飼料を給与した場合、数量に200 t、金額に1千
万円を記入し、調査対象畜負担割合には、経営全体に占める調査対象畜の割合を記入
してください。

区 分	数 量	単位	金 額（円）	調査対象畜 負担割合
配 合 飼 料	200	t	10000000	

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜以外の家畜を飼育している場合の設定方法を
説明します。（※ここでは、調査対象畜と肥育牛を飼育している事例で説明します。）

（1）配合飼料の場合

経営全体の家畜（繁殖雌牛+子牛+肥育牛）の飼養頭数のうち、繁殖雌牛と子牛の割合
を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{繁殖雌牛と子牛の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち繁殖雌牛と子牛が21頭、肥育牛が9頭の場合
の調査対象畜負担割合は70%（21頭÷30頭×100）になります。

（2）畜舎の場合

畜舎の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負
担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した畜舎の面積}}{\text{畜舎の全面積}} \times 100$$

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜に240㎡、肥育牛に60㎡をそれぞれ使用して
いる場合の調査対象畜負担割合は80%（240㎡÷300㎡×100）になります。

（3）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調
査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外
に90日使用した場合の調査対象畜負担割合は40%（60日÷150日×100）になります。

◎調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。
以下を参考に記入してください。

（4）倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割
合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の
「調査対象畜負担割合」は30%（45㎡÷150㎡×100）、
「自給牧草負担割合」は50%（75㎡÷150㎡×100）になります。
<倉庫（150㎡）の負担割合のイメージ図>

倉庫全体（150㎡）		
調査対象畜の飼料置き場 （45㎡）	自給牧草生産用の農機具の保管場所 （75㎡）	その他 （30㎡）
調査対象畜負担割合：30% 自給牧草負担割合：50%		

記入に当たり、
右頁を参照し
てください。

調 査 事 項

【1】経営の概況	ページ 3
経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。	
【2】調査対象畜の取引状況	4
繁殖雌牛及び子牛の転入・転出状況、繁殖雌牛の初回種付けの月齢、きゅう肥の利用状況を記入してください。	
【3】調査対象畜の生産に使用した資材等	5
飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料等の賃借料・料金を記入してください。	
【4】物件税及び公課諸負担	9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。	
【5】消費税	9
消費税申告書により申告した消費税を記入してください。	
【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子	9
借入金残高、支払利子を記入してください。	
【7】出荷に要した経費	9
出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。	
【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況	10
建物・構築物の所有状況を記入してください。	
【9】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況	11
自動車等の所有状況を記入してください。	
【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況	12
農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。	
【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等	13
スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。	
【12】作業別労働時間	14
家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。	
【13】地代（所有地及び借入地）	14
地代を記入してください。	

【1】経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地（a）	借入地（a）
田	ha	ha
普 通 畑	ha	ha
樹 園 地	ha	ha
牧 草 地	ha	ha

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用語の説明	男（人）	女（人）
世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家 族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上の方		
150 日 以 上	年間の農業労働日数が150日以上の方		
農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安にしてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる	いない
----	-----

通信欄（農業に関する何を何でもお書きください。）

【2】調査対象畜の取引状況（続き）

3 初回種付けした繁殖雌牛

1 年間に初回の種付けをした繁殖雌牛の個体識別番号、初回種付け月を記入してください。

個体識別番号 (10ケタの耳標番号)	初回 種付 け月	個体識別番号 (10ケタの耳標番号)	初回 種付 け月

4 きゅう肥の利用状況

1 年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量 の割合 (%)	販売用	自家利用	廃棄
100			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。
(販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。)

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください

販売金額 (円)

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名 (具体的に記入)	数量	単位

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

1 購入飼料

1 年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
(自給飼料は、6 ページに記入してください。)

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$$

区 分		数 量	単位	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合
穀 類	大 麦				
	そ の 他 の 麦				
	とうもろこし				
	大 豆				
	飼 料 用 米				
	そ の 他 の 穀 類				
ぬか・ふすま類	ぬか・ふすま類				
	米・麦ぬか				
	そ の 他 の ぬか・ふすま類				
植 物 性 飼 料	大豆油かす				
	ビートパルプ				
	そ の 他 の 植 物 性 飼 料				
配 合 飼 料					
T M R (粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)					
牛 乳 脱 脂 乳					
い も 類 及 び 野 菜 類					
わ ら 類	稲 わ ら				
	その他のわら類 (麦わら等)				
生 牧 草					
乾 牧 草	ヘイキューブ				
	その他の乾牧草				
サイレージ	い ね 科 (稲発酵粗飼料を除く。)				
	稲 発 酵 粗 飼 料				
	そ の 他 の サ イ レ ー ジ				
上 記 以 外 の 購 入 飼 料					

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

2 自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、1年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。
また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

【調査対象畜負担割合について】

- ・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$$

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

区 分		自給飼料の例示	生 牧 草 (生の状態で給与するもの)				乾 牧 草 (乾燥させて給与するもの)				サイレージ (発酵させて給与するもの)				左記の牧草の生産状況								
			数 量		単位	調査対象畜 負担割合	数 量		単位	調査対象畜 負担割合	数 量		単位	調査対象畜 負担割合	作 付 面 積		収 穫 量		単位				
い ね 科	デントコーン		万	千	百	十				万	千	百	十				ha		万	千	百	十	
	イタリアン ライグラス																						
	ソ ル ゴ ー																						
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ																					
	そ の 他	オーチャードグラス、チモシー、 ライ麦、えん麦等のいね科の牧草																					
ま ぜ ま き	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね 科牧草がメインのまぜまき牧草																					
	そ の 他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイ ン、又はいね科とまめ科の折半の牧草																					
そ の 他 の 牧 草		アルファルファ、クローバー等のまめ科 の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等																					
穀 類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等 の穀類																					
い も 類 及 び 野 菜 類		かんしょ、いもづる等																					
野 生 草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、 生のまま給与するもの																					
野 乾 草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、 乾燥させて給与するもの																					
放 牧 時 間 (放 牧 場)		放牧場における放牧時間																					

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、1年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例

- ・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与
- ・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与 など

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。



- ・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
- ・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

作物名 (具体的に記入)	数	量	単位	調査対象畜負担割合
		万 千 百 十		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

3 種付料

- (1) 種付けに支払った料金を記入してください。
(精液代、種付料等)

種付料金 (円)	万	千	百	十

- (2) 自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数を記入してください。

延べ種付回数 (回)	万	千	百	十

4 敷料費

(1) 購入

1年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合
計	万 千 百 十	%
稲 わ ら		
お が く ず		
麦 わ ら		
乾 牧 草		
そ の 他		

物々交換した場合		
品目名 (具体的に記入)	数量	単位
	万 千 百 十	

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

- ・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を
目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量	単位	調査対象畜 負担割合
	万 千 百 十		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 光熱動力費

(1) 購入

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)	
		調 査 対象畜	自給牧草
計	万 千 百 十		
重 油			
軽 油			
灯 油			
ガソリン			
灯 道 料			
電 力 料			
そ の 他			

- ・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量		負担割合（％）		
	単位		調 査 対象畜	自給牧草	
	万	千	百	十	

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【自給で使用了燃料の例】 薪、木炭 など

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

6 獣医師料及び医薬品費

1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額（円）	調査対象畜 負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計	万 千 百 十	%	
獣 医 師 料			獣医師に支払った診療代 （投薬、注射等の代金を含む。）
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」（病傷部分）
医 薬 品 費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

- ・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

7 賃借料及び料金

1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額（円）	負担割合（%）	賃借料及び料金の例示
	万 千 百 十	調 査 対象畜 自給牧草 %	
計			
共 同 負 担 金			共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農 機 具 借 料			農機具のリース代
そ の 他			削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金 等

- ・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

8 草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

1年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金（円）	土地改良事業の負担金（円）
草地造成事業	事業番号（ ）
草地整備事業	事業番号（ ）
万 千 百 十	万 千 百 十

① ほ場整備事業、② 農地開発事業、③ かんがい排水事業、④ 農道（牧道）整備事業、⑤ その他の整備事業

- ・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

9 その他の資材等

前記1～8以外で、1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために使用した購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。

また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資 材 名 等	数 量	金 額（円）	負担割合（%）
	単位	万 千 百 十	調 査 対象畜 自給牧草
計			
購 入			
自 給	万 千 百 十		

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【調査対象畜に使用した資材例】
ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙 など

【自給牧草の生産に使用した資材例】
牧草の種子、肥料、諸材料、農薬、きゅう肥（購入・自給） など

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に係る各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分		金 額 (円)	負担割合 (%)	
			調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計				
固 定 資 産 税	建 物			
	農 機 具			
都 市 計 画 税 (土 地 以 外)				
不 動 産 取 得 税 (土 地 以 外)				
共 同 施 設 税				

注：固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

- ・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜又は自給牧草への使用面積割合を記入してください。

○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜又は自給牧草への使用日数割合を記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に係る公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分		金 額 (円)	負担割合 (%)		公課諸負担の例示
			調 査 対 象 畜	自 給 牧 草	
計					
集 落 協 議 会 費					地域集落等の会費
農 業 協 同 組 合 費					農業協同組合の組合費、賦課金
肉 用 牛 組 合 費					
農 事 実 行 組 合 費					実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金					

- ・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。
- 集落協議会費、農業協同組合費、肉用牛組合費及び農事実行組合費の場合は、農業収入に占める調査対象畜の収入割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。
- 家畜共済組合賦課金の場合は、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

【5】消費税

消費税申告書により申告した調査対象畜分の消費税額を記入してください。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合
消 費 税 (納付額)		

【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（1月1日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。

また、1年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借 入 金 種 類	調査開始時 未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	負担割合 (%)	
			調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計				
買 掛 未 払 金				

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

- ・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

【7】出荷に要した経費

1年間に子牛を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。

区 分	金額、時間	出荷に要した経費の例示
材 料 (円)		出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金 等
料 金 (円)		出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金 等
労働時間 (時間)		子牛を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間

【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・ 該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・ 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$ 自給牧草負担割合 = $\frac{\text{自給牧草の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$

番号	名 称 等	種 類 コ ー ド	構 造 コ ー ド	延べ面積 (㎡) 又は 施設数 (基)	新古区分		耐用年数 (年)	取得年月		取 得 価 額 (円)	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 (円)	修 繕 費 (円)	保 険 料 (円)	負担割合 (%)		年内異動状況	
					新 築	中 古		年 (西暦)	月	〔 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。 〕	〔 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。 〕	〔 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。 〕	〔 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。 〕	調 査 対 象 畜	自 給 牧 草	異動 コ ー ド	異動に伴う発生金額 (円) 〔 売却金額、取り壊しの金額 〕
1				千 百 十				年 月 日	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十				万 千 百 十
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード			
建築物			
1	住宅	4	作業場
2	事務所	6	畜舎
3	納屋・倉庫	8	車庫
		9	たい肥舎・たい肥盤
		10	乾牧草収納庫
		13	その他の建築物

構築物			
20	牧柵	24	飼料用タンク
21	電気柵	26	ふん尿貯留槽
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設
23	サイロ	28	脱臭施設
		29	プラスチックハウス利用乾燥施設
		30	その他のふん乾燥施設
		31	その他の構築物

構造コード			
建築物			
(1 住宅) ～ (13 その他の建築物)			
1	木造	6	木造モルタル
2	合成樹脂造	7	金属
3	鉄筋コンクリート	8	その他
4	コンクリートブロック	9	鉄骨格材の肉厚3mm以下
		10	鉄骨格材の肉厚3～4mm
		11	鉄骨格材の肉厚4mm以上
構築物			
(20 牧柵) ～ (31 その他の構築物)			
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属
		3	木造
		4	土管
		5	合成樹脂
		6	塩化ビニール
		7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・ 畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
- ・ 畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
- ・ パンカーサイロのビニールの張替え費 など

【9】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100 \quad \text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$$

番号	名 称 等	種類 コード	型式 コード	新古 区分	耐用 年数 (年)	取得年月		取 得 価 額 (円)	修 繕 費 (円)	自動車保険料 (円)	自動車・ 軽自動車税 (円)	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		負担割合 (%)		年内異動状況	
						年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)	調 査 対象畜	自給 牧草	異動 コード	売却金額 (円)
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	型式コード
1 貨物自動車	(1 貨物自動車)
2 その他の自動車	(2 その他の自動車)
	1 軽自動車
	2 普通自動車 (ダンプ式)
	3 普通自動車 (ダンプ式以外)
	1 軽自動車
	2 普通自動車
	3 自動二輪・三輪

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物を除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

異動コード
1 売却
2 廃棄等

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・ 該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・ 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$ 自給牧草負担割合 = $\frac{\text{自給牧草の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名 称 等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円)	農業経営基盤 強化準備金 (円)	修 繕 費 (円)	保 険 料 (円)	軽自動車 税 (円)	当年、車検を受けた車両につ いて記入してください。		負担割合 (%)		年内異動状況	
						年 (西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)	調 査 対 象 畜	自 給 牧 草	異 動 コ ー ド	売 却 金 額 (円)
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード			
5 農用トラクター	33 モア ー	40 飼料粉碎機	52 固液分離機
6 プラウ	34 カッター	41 飼料配合機	53 自動給水機
7 ハロー	35 ベーラー	42 バンクリナー	54 トレーラー
8 マニースプレッダー	36 集 草 機	48 自動給餌機	55 運搬用機具
11 牧草は種機	37 他の牧草収穫機	49 ローダー	56 その他の農機具等
16 中耕除草機	38 積 込 機	50 バキュームカー	57 パソコン
17 動力噴霧機	39 搬送・吹上機	51 ふん尿搬出機	58 その他の生産管理機器

型式コード	
(56 その他の農機具等)	
1	その他・耐用年数3年
2	その他・耐用年数4年
3	その他・耐用年数5年
4	その他・耐用年数6年
5	その他・耐用年数7年
上記以外の農機具等	
6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・ 農業機械の修繕、整備費用、部品代
- ・ パソコン等の修理費用、部品代 など

異動コード	
1	売 却
2	廃 棄 等

【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

名 称 等	金 額 （ 円 ）	負担割合（％）		内 容 例 示
		調 査 対 象 畜	自 給 牧 草	
(計)				【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費
農				
具				
・				
農				
業				
被				
服				
等				
の				
購				
入				
費				

[illegible]

【12】作業別労働時間

1 調査対象畜に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に1日当たりの平均作業時間を記入し、下段に1年間の従事日数を記入してください。

「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

氏 名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
				時間	分	時間	分	時間	分
	(男)(女)		家族雇用						
	(男)(女)		家族雇用						
	(男)(女)		家族雇用						
	(男)(女)		家族雇用						
	(男)(女)		家族雇用						
	(男)(女)		家族雇用						

注：雇用者の年齢は記入不要です。

2 調査対象畜に関する1以外の作業

「作業名」欄の（ ）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。
ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料（牧草等）の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。

氏 名	性別	年齢	家族・雇用	作業名 ()	作業名 ()	作業名 ()	作業名 ()	作業名 ()
				時間	時間	時間	時間	時間
	(男)(女)		家族雇用					
	(男)(女)		家族雇用					
	(男)(女)		家族雇用					
	(男)(女)		家族雇用					
	(男)(女)		家族雇用					

注：雇用者の年齢は記入不要です。

3 支払賃金

雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)	
		調査対象畜	自給牧草
男			
女			

・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の生産のための支払い分を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給牧草の負担割合を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地）

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。
なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1 所有地

ほ 場 名	ほ場の例示	実面積	負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草
建 物 敷 地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地			
運 動 場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を網でつないで飼うこと。）に利用した土地			
牧 草 栽 培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地			
放 牧 地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地			
採 草 地	耕地以外で過去1年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

2 借入地

ほ 場 名	実面積	支払地代 (円)	負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草
建 物 敷 地				
運 動 場				
牧 草 栽 培				
放 牧 地				
採 草 地				

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。